

◎センスオブアース・エコポリスセンターからイベントのお知らせ◎

『ご近所の底力』

『世界不思議発見(コスタリカ)』

でおなじみのナチュラリスト **藤本和典**さんの**エコライフ講演会**

キラキラ輝く自然を取り込んだ 『楽しいわが家のエコライフの作り方』



藤本和典 (ふじもとかずのり) さん

メディアでも、全国の、幼・小・中・大・地域の自然観察会のインタープリターとしてもご活躍中で、日本、世界の自然をわかりやすく案内して下さるナチュラリスト (自然大好き人) です。



自然大好きが地球を救う!

日時 6月22日(日) PM 2:30~4:30

場所 板橋区エコポリスセンター2階 環境学習室

定員 30人 (申込み先着順)

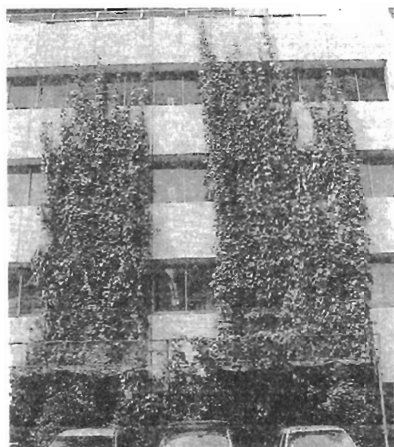
共催 NPO 法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
板橋区エコポリスセンター



お申込みは、板橋区エコポリスセンター (担当: 遠藤) まで

(受付) FAX 03-5970-2255 (お問い合わせ) TEL 03-5970-5001

SOE レポート



緑のカーテンの育て方 「緑のカーテン」の講習会に参加して

最近、テレビ等で話題になっている「地球温暖化」。世界各地で起きている異常気象も温暖化が原因といわれています。私たちも、この温暖化を身近な問題としてとらえ、できることから実践していく必要があります。その第一歩として「緑のカーテン」を作ることから始めてみるのもいいですね。そこで去る5月11日(日)、

板橋区役所では、平成18年から、ヘチマを主にキュウリやゴーヤでの緑のカーテンが設置されている

前野ホールに於いて、板橋区環境保全課主催の「緑のカーテン」の講習会がありましたので参加してきました。その報告をさせていただきます。(記事・SOE 柳会員)

緑のカーテンとは → ヘチマやゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラなどのつる性の植物を窓の外に這わせた植物のカーテンのことです。

緑のカーテンが 温暖化防止に 役立つのは → 夏の強い陽射しを和らげ、葉の蒸散作用により周囲の温度を下げてくれるので、カーテンから涼しい風が流れ込み室内の温度の上昇を抑えてくれます。そして、室内のクーラーの使用を減らすことによって、電気代の節約になります。また植物の葉の光合成により、酸素を放出し地球温暖化の大きな原因と考えられるCO₂(二酸化炭素)を吸収したり、大気汚染物を浄化してくれるので、温暖化防止に役立つといわれています。

●資料●

- ・「緑のカーテン」を設置すると真夏のクーラー使用では20～30%の省エネ効果があるといわれます。
- ・「緑のカーテン」の温度測定結果(板橋区役所本庁舎)

屋外：日向と葉陰の差…最大 14.2℃

屋内：日向と葉陰の差…最大 11.0℃

※かなりの温度差があることに驚きました。

緑のカーテンの育て方 さあ、みなさんも緑のカーテンを育てましょう。☀

① 準備するもの

プランター → 養分や水分確保のため、大きめで奥行きのあるものを意する。できるだけ深めのものがよいです。

土 → 培養土が簡単です。園芸土と腐葉土、または堆肥を混ぜたものでもよいです。

保水性小石 → プランターの底に、水はけをよくするため木炭、鉢底石などをしきます。

肥料 → 油かす、鶏糞、化成肥料もよいができれば有機肥料がおすすめです。

支柱 → 苗が短いうちは支柱で支えると安全です。

ネット → 10cm×10cm目角がおすすめです。(園芸店、ホームセンターで入手できます)

種または苗 → 収穫を楽しむのはゴーヤ、きゅうり。見て楽しむならアサガオ、フウセンカズラです。面積が大きければ、葉が大きく台風にも強いヘチマがおすすめです。ただし、ヘチマときゅうりは相性が悪いので、並べて植えないように。

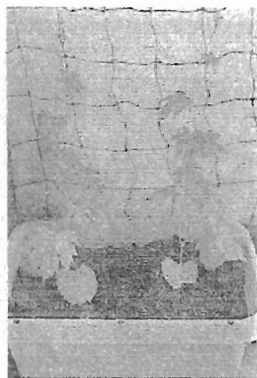
② 種まき、苗植え

◎ 苗や種を植える間隔は、葉の小さいアサガオやフウセンカズラは20cm程度、葉の大きいゴーヤ、ヘチマ、きゅうりなどは30cm程度にしましょう。

◎ 種から始める場合は3月下旬から4月中旬。

◎ 種を一晩水につけたり、種に切り込みを入れておくと発芽しやすくなります。

◎ 苗を植える場合は5月上旬です。(実のなる時期はずれていきますが、6月下旬でも間に合います…センスオブアースでの経験から)



種を植付け、スタート

3 水やり

- ◎プランターは水分の蒸発・流出が早く、しかも種まき苗植え伸び盛りになるとよく乾くので、水は毎日十分にあげます。
- ◎真夏は朝、夕に水やりするといいです。
- ◎雨水を貯めておいたものやクーラーで除湿された水などを使えば環境にやさしいですね。



ベランダでの実例

4 追肥

- ◎肥料は10日に1回程度あげましょう。
- ◎できれば有機肥料で育てたいですが、初めてだと難しいので園芸店さんに相談するといいでしょう。

5 つるや枝の誘引

- ◎つるが50cmほど伸びたら、支柱やネットなどを用意してつるを這わせましょう。
- ◎ある程度伸びたら摘心（てきしん：一番先の芽や茎をつむぐこと）すると、横に広がるようになります。



6 病害虫対策

- ◎予防が大切です。状況によって環境にやさしい保護液や木酢液などを散布します。
- ◎詳しくは園芸店さんに相談しましょう。



屋上を利用した実例

7 収穫・管理

- ◎実は適当な時期に収穫します。（ゴーヤは放っておくと割れます）
- ◎秋、日差しが弱くなってきたら終了です。片づけをして道具は保管、種は翌年のためにとっておきましょう。

8 その他

- ◎成育の途中は、写真を撮ったり、成長の様子を記録しましょう。
- ◎小学生のお子様がいるご家庭では夏休みの自由課題にもつかえます。温度測定をしたり、エアコンの使用頻度をチェックしてみましょう。



《体験談から》

私も昨年、初めて緑のカーテンを作りました。なんと6月下旬に苗を植えたのですが、ゴーヤが30本ぐらいと、きゅうり10本ほどを収穫できました。アサガオも幾度も咲きました。



まだまだ、間に合いますね。みなさんもチャレンジしてください。

● S.O.E. 活動報告 (2008年5月)

日	曜	内 容
1	木	桜川小学校プール生きもの調査・学校長へ報告
2	金	小学校への連絡等
8	木	日本女子大学人間社会学部 自然探偵団主催 自然観察会
11	日	センスオブアース5月号ニュース発行作業日2400部発行 事務局打ち合わせ
16	金	ヤゴ救出作戦事前研修会 2~4SOE参加 エコライフ講演会の原稿書き
17	土	ヤゴ救出作戦事前研修会 10~12 2~4 両方SOE学生 参加
18	日	SOEと学生のワークショップ フードマイレージ授業 (食べものの搬送にかかるエネルギー量はどれくらいか) のプログラム分析と準備作業
21	水	徳丸小学校ヤゴ救出作戦エコポリ出前授業にSOE学生参加
25	日	第四回ビッグバンド "ピオトープからの使者" ライブ2:30~ SOEメンバー出演
26	月	沖縄エコツアーの準備、しおり作成
27	火	沖縄エコツアーの航空券手配のため沖縄ツアーリストと打ち合わせ
29	木	志村第三小学校 ヤゴ救出作戦 雨のため延期 第5回SOE総会のお知らせ作成送付
31	土	テーマ環境教育「学校ほど愉快なところはない」 蓮根第二小の実践を日本女子大学人間社会学部教育学科で講義 第5回沖縄エコツアーのお知らせを学生に配布

● S.O.E. 活動予定 (2008年6月)

1	日	藤本和典さんのエコライフ講演会のチラシ作成、印刷、発送、配布、地下鉄志村三丁目駅にチラシ依頼
2	月	第5回沖縄エコツアーの打ち合わせ
3	火	ヤゴ救出作戦エコポリ出前授業 SOE学生参加
4	水	~5日まで SOEニュース6月号の原稿書き 諸連絡
7	土	日本女子大学人間社会学部教育学科1年講義 テーマ「学校と地域・保護者との協働」一環境教育推進に関わって
8	日	午前 荒川クリーンエイド 全国河川の水質調査活動 SOE担当舟渡水辺公園 午後 SOEニュース6月号発行作業・事務局会議
9	月	~21日まで エコライフ講演会呼びかけ
19	木	板橋第七小 1年 中野教諭の授業参観 日本女子大学1年生 83名 講師 寺田
22	日	SOE総会 1:00~ 藤本和典さんのエコライフ講演会 2:30~4:30
24	火	SOEと学生とのワークショップ 1:00~ 日本女子大生涯学習概論の準備
26	木	板橋区環境教育プログラム部会に委員として出席 2~4
27	金	日本女子大学人間社会学部生涯学習概論授業で150人に講義(環境教育フードマイレージ) 寺田と学生スタッフで授業構成

日程決定!! 9月4日(木)~7日(日)・3泊4日

第5回 沖縄・備瀬~ちゅら海 エコツアー 

センスオブアースのもうひとつの拠点が沖縄。恒例のエコツアーも今回で5回目。沖縄の人たちとの交流、海岸のゴミ拾い、一昨年からはじめたサンゴの成長観察など、センスオブアースならではのエコツアーです。 今月より受付しております。メールまたはお電話で。

ツアー概要:《日程》9月4~7日 4日間(3泊4日)《予算》約7~8万円(全食事付)

《定員》14名・先着順 《お申込・お問合せ》お名前・住所・年齢・性別・電話番号
をご記入の上 FAX・メールで fax: 03-3960-6053 mail: info@npo-soe.jp

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp uri: www.npo-soe.jp